～市長が語る～「わがまちの今・これから」主な質疑応答の要旨

日　時：令和元年５月２２日（水）１８：３０～２０：００
場　所：袖ケ浦市民会館　３階中ホール
出席者：市長、企画財政部長、企画課長、財政課長、秘書広報課長　他
参加者：４８名（男性３７名・女性１１名）

【市長説明項目】
第１部　わがまちの「今」
第２部　わがまちの「これから」

【主な質疑応答の要旨】
参加者：東京ドイツ村の集客のためには、袖ケ浦駅から路線バスで大周りするのではなく、シャトルバスをもっと出したら良いと思います。

市長：東京ドイツ村に行く路線バスは平岡線になりますが、全ての便がドイツ村に行くわけではありません。平岡線は赤字の路線で、ドイツ村に行くルートに変えてもらったところ利用者が少し増えました。イルミネーションの時期は、ドイツ村の経費によりシャトルバスが出ていますが、来年も継続すると思います。平日でもシャトルバスを出すとなると、ドイツ村として投資効果があるのかが問題になると思います。クリスマスや正月前後であれば平日でもシャトルバスを出していると思いますが、それ以外は困難なのではないかと思います。要望はしておきます。

参加者：シティプロモーションの一環として、車のナンバープレートに房総半島の特徴などの絵柄を入れてください。また、駅の発車メロディーや広報無線の時報に光のコスモスを導入してください。去年、郷土博物館の企画で作られた散策マップは素晴らしかったので、このようなものをバスに乗せて活用できたらと思います。アクアラインの渋滞についてはどのように考えていますか。

市長：図柄入りのナンバープレートは、一定の要件を満たすことが必要ですが、本市が単独でやるのであれば、軽自動車や原付に対するものになってしまうので、枚数が少なく効果が少ないです。県単位でやれればいいのですが、単独の市町村で、市の絵柄を入れるのは難しいと思います。
電車の発車メロディーについては、袖ケ浦駅、長浦駅舎を新しくした際に相談をしました。費用の問題もありますが、ＪＲの方で許可が出ませんでした。散策マップについては、田園空間事業で博物館のマップに似た散策コースのマップがあったため乗せたことがありますが、利用はあまりありませんでした。また検討をします。アクアラインの渋滞の解消については、本市一市での対策は困難です。効果があると考えられるのは、金田インターから国道１６号の今井球場までの道となる東京湾岸道路の構想があります。市内の土地買収は済み、木更津市側も約８０％が済んでいます。国が動けば進められるので、要望しているところです。これができると少しは渋滞が解消されると見ています。また、中野畑沢線がアウトレットで止まっていますので、海側の土地区画整理区域まで延伸し、高須箕和田線と繋ぐ工事を県事業として昨年度から用地買収や設計に着手しました。市としてできることは進めていきますが、根本的な解決というのは難しいと思います。

参加者：海側土地区画整理事業については、近々換地があると聞きました。組合員以外にそのような情報がありませんので、説明や専用窓口の設置などの対応をお願いします。また、集会場の整備計画はあるのでしょうか。駅前の草だらけの土地は異常だと思います。所有者不明な土地というものはあるかもしれませんが、子どもの安全にもかかることなので、早急な対策をお願いします。

市長：換地については、組合で最終的な仕上げをしているところです。組合が進めているものなのですが、市では都市建設部で相談に乗りますので、連絡をしてください。集会場については、自分たちで整備して、その２分の１を上限として市が補助するのが原則ですが、ハウスメーカー等で整備してくれればと考えています。桜坂上では、事業者から集会場用施設を寄付してもらいましたが、自治会の設立に至っていないこともあり、今は小規模保育施設として使っているものもあります。お手伝いをしますので、早く自治会を作って相談してください。草の問題については、地権者の財産であり、管理は所有者がするのが原則です。

あまりにもひどいときには、文書等で刈るようにお知らせをします。少しでも解消するよう、周知活動をしていきます。

参加者 : 駅から今井に行く道に、ウサギやキジがいます。県や国でその土地を買い上げて、保護地区にしてください。

市長 : 保護地区にするには条件がありますので難しいと思います。市内の他の地域でもキジは増えています。

参加者 : 交通事故防止の関係で、小学校の通学路にある横断歩道では、色が薄くなっているところがあります。塗りなおすよう要望してください。

市長 : 道路パトロールもしておりますので、すぐ対応できるものについては対応しています。県道等の場合、すぐに対応できないものもありますが、お気づきのところがあれば、市へご連絡ください。